

第1回石川町障がい福祉計画策定委員会 議事録

日 時：令和2年7月30日（木）午後2時00分から

場 所：石川町役場 3階 正庁

出席委員：木村 美和、中野 千恵子、桑澤 恵美子、大野 広光、木戸 美帆、
佐久間 高志、高原 孝、國井 明

欠席委員：吉田 清美

事務局：保健福祉課長 大賀 俊昭、社会福祉係長 草野 竜彦、社会福祉係 小松 昇一

社会福祉係長 (進行)	<p>委嘱状交付式に引き続き、只今から第1回石川町障がい福祉計画策定委員会を始めさせていただきます。</p> <p>はじめに、委員長及び副委員長の選出を行います。委員長が決まるまで、仮議長を保健福祉課長にお願いしたいと思いますが、異議ありませんか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p> <p>異議なしの声がありましたので、保健福祉課長に仮議長をお願いします。</p>
保健福祉課長	<p>委員長が決まるまで、仮議長を務めます。それでは、委員長及び副委員長の選出について、事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>石川町障がい福祉計画策定委員会設置規則第5条 委員会に、委員長及び副委員長1名を置き、委員の互選によってこれを定める。以上により選任をお願いいたします。</p>
保健福祉課長	<p>委員長及び副委員長について、事務局より提案いただいてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p> <p>異議なしの声がありましたので、事務局案を提案願います。</p>
事務局	<p>それでは、委員長に國井 明 委員を、副委員長に高原 孝 委員を提案いたします。</p>
保健福祉課長	<p>只今、委員長に國井 明 委員、副委員長に高原 孝 委員との提案がありました。ご異議ありませんか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p> <p>それでは、委員長を國井 明 委員に、副委員長を高原 孝 委員にお願いいたします。それでは、議長を交代します。</p> <p>(委員長あいさつ)</p> <p>それでは、協議事項に入ります。</p> <p>(1) 石川町障がい者計画・第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の策定方針について、(2) 町民向けアンケートについて、関連する内容なので、一括、事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>(資料により説明)</p>

委員長	只今の説明について、質疑、ご意見等がありましたら挙手願います。
委員	前回のアンケートの回収率が51%程度、回収率を上げる方法を検討する必要がある。
事務局	手帳所持者500名を対象にしており、調査業務委託先との打ち合わせでは、50%程度の回収率が一般的と確認しているが、回収率を上げる方法は考えたい。前回調査では、文字にルビ振りをしたが、逆にごちゃごちゃして読みづらいという意見もあったため、今回の調査票案にはルビを振らないでみた。少しでも回答しやすい内容や見た目にしたいと思う。
委員	対象者について、手帳所持者500名をランダムに抽出するとのことだが、手帳の種類や年代が偏らないように抽出するよう気をつけてはどうか。手帳種類や年代によって思いが変わってくると思うため、バランスよくお願いしたい。
事務局	そのように調整したい。
委員	前回の回収率が低かった理由はどのように考えているのか。アンケートについての問い合わせはあったのか。
事務局	前回のアンケートでの内容等の問い合わせは特に無かったが、アンケート回答の中に、質問の意味が分かりづらいという趣旨の記載があった。前回のアンケートでは、策定委員の意見をいただかず実施したため、今回は内容についても確認いただき、ご意見いただきたい。
委員	自由記載の部分について、前回のアンケートではどの程度記入されていたか。
事務局	記入される方は少なかった印象だが、長文で意見を記入されている方もいた。
委員	関係団体向けアンケートとは。
事務局	前回の策定時にも、石川地方地域自立支援協議会を活用し石川郡5町村共同で実施した石川郡内の障がい福祉事業所、近隣の特別支援学校、近隣の精神科医療機関へのアンケート調査を実施予定で、今回については、令和2年度から開設した石川地方障がい者基幹相談支援センターに実施依頼する予定。
委員	調査票が文字ばかりで見づらい印象のため、イラスト等が入ったほうがいいのか。
委員	災害についての部分は、直近で被災したこともあるため、具体的に聞いたほうがいいのか。
委員	自由記載部分については、すべて自由だと逆に書きづらいのでは。 災害についても部分でも、例えば台風19号の時どうだったか等、状況を絞った聞き方をしたほうが答えやすいと思う。
委員	対象者の中には、自分で回答できない方もいると思うが、その場合はどうするのか。
事務局	基本的には宛名の本人が、支援を受けながらも、本人目線で回答していただくよう考えている。
委員	自分で回答できない方だと、家族の意見になってしまっているのではないかと。

事務局	本人目線でなく支援者目線での回答もあるのは、前回のアンケートでも感じた部分です。「記入にあたってのお願い」や選択肢の部分でも、あくまでも本人の考えを回答いただきたいことはしっかり伝えたい。
委員	基本指針の成果目標にあるが、医療的ケア児等に関するコーディネーターに配置について、県でもコーディネーターの研修が開催されているものの、石川町では前年度の受講はなかったようだが、今後の受講予定はあるか。
事務局	現時点では、町内に医療的ケアを必要とする児童がいないこともあり、コーディネーターの配置については検討できていない。
委員	県内でも6自治体がコーディネーターを配置している。石川町には医療的ケア児がいないのかもしれないが、石川郡内にはいる状況もあり、これからのことを考え話題にしてほしい。
事務局	医療的ケア児の協議の場を、石川郡5町村共同で設置している石川地方地域自立支援協議会のこども部会としているため、コーディネーターの配置についても協議していきたい。
委員	視覚、聴覚障がい者への支援について、手話通訳者の派遣については福島市の法人へ委託していると思うが、遠方であることもあり利用が難しいという話も聞く。町内にある手話サークルに手話通訳の依頼もあるとの話も聞くが、町への相談はあるのか。
事務局	視覚、聴覚障がい者への支援については、近隣に専門的な団体等も無く、県や福島市の団体への相談を案内することになってしまっている現状で、利便性には課題がある。手話サークルの存在の把握もできていなかったため、計画策定にあたって状況を確認していきたい。
委員	アンケートに難病患者は入れないのか。
事務局	指定難病は県が受給者証の発行をしており、調査対象者に難病を抽出することは難しいが、設問の中で難病であるかどうかを聞くことはできる。その他も含め、意見いただいた内容を勘案して調査票を設計していきたい。
委員長	以上で議題を終了といたします。進行を事務局にお返しします。
社会福祉係長 (進行)	ありがとうございました。その他、委員の皆様から何かありましたらお伺いいたします。
事務局	(次回開催日程について説明)
社会福祉係長 (進行)	本日の会議は以上でございます。閉会の言葉を高原 孝 副委員長にお願いいたします。
副委員長	協議おつかれさまでした。以上をもちまして、第1回石川町障がい福祉計画策定委員会を閉会いたします。